

朝光寺 横浜市青葉区市ヶ尾町 1050-17

今から約 450 年前、武蔵野国遠藤村宝泉寺の末寺として白玉山土峯院と号し、多摩丘陵に連なる武蔵野国市が尾村の現在地に建立された。

ご本尊は薬師瑠璃光如来で、後奈良天皇時代に上原勘解由左衛門（法名朝光寺法山道念、天文 17 年 1547 年卒）が開基、碧岑東全（天文 16 年 1546 年寂）が開山となり創建、その妻（法名土峯院盛山浄榮）より院号寺号を名付けたといひます。慶安 2 年（1649）徳川家光時代に寺領 6 石 5 斗の御朱印を拝領した。（新編武蔵風土記稿より）（境内の説明石碑より）



道路歩道直ぐに入口



参道は急な階段



本殿が開いていた



本殿脇の通路に扉が閉められていた



扉を開けると稲荷神社が



立派な鬼瓦